

装置数は、添付書類ごとに記載する装置数を記載してください。
(装置番号ではありません。)

(重要) 添付書類は2部提出いただき1部は返送します。許可状とともに大切に保管してください。

記載例

高周波利用設備

申請書
届書

の添付書類 (5 装置分)

※ 整理番号

(装置の別)	(1) 使用周波数	(2) 発振方式	(3) 占有周波数帯幅又は周波数変動幅	(4) 高周波出力	(5) 負荷と電極の結合方式	(6) 装置内電源ろ波器
第1~4装置	13.56MHz	自励発振	±6.78kHz	20kW	誘電結合	■有 □無
第5装置	2.450MHz	水晶発振	±50MHz	300W	誘導結合	
(装置の別)	(7) 遮蔽部分	(8) 機器の製造者名		(9) 機器の型式又は名称	(10) 機器の製造番号	
第1~4装置	発振部	株式会社〇〇		AB1234	第1装置 G12345 第2装置 G12346 第3装置 G12347 第4装置 G12348 第5装置 HIJ-111	
第5装置	全部	××株式会社		CDEF-2		
(11) 高周波そく流線輪	(12) 電源ろ波器	(13) 遮蔽室等		(14) その他の工事設計	(15) 添付図面	
□有 □無	□有 ■無	ア 遮蔽室 □有 ■無 材料 構造 m× m× m イ 設備を設置する建物の構造 鉄筋コンクリート造り 3階に設置		電波法第100条において準用する同法第28条、第30条及び第38条に既定する条件に合致している	□ア 線路系統図 □イ 装置の系統図 ■ウ 装置の外観を示す図又は写真	
(16) 設備規則第65条第1項における区別				(17) 定格入力電力		
第1~第4装置 第2号及び告示207号第1項 第5装置 第1号及び告示207号第1項				第1~第4装置 30KVA 第5装置 0.2KVA		
(18) 無変調搬送波状の妨害波の発生				(19) 無変調搬送波状以外の変動妨害波の発生		
□有 ■無				□有 ■無		
2 設置場所付近の図面		■ 設置場所付近の建造物等の状況を示す図		A4の用紙に半径200mの円内の範囲をできるだけ大きく記載してください。		
3 参考事項		第1~第5装置新設		申請内容その他参考となる事項を記載してください。		申請する設備の種別(工業用加熱設備、各種設備、医療設備)を記載してください。

工業用加熱設備、各種設備及び医療用設備の場合は記載不要です。

無線設備規則第65条第1項第1~7号のうち該当する号を記載してください。告示第207号第1~5項にも該当する場合は、合わせて記載してください。

皮相電力(VA)で記載してください。

ふりがな	カブシキカイシャソウム			6 設備の種別	各種設備
4 氏名又は名称	株式会社総務				
ふりがな	トウキョウトチヨダクカスミガセキ				
5 住所	郵便番号 123-XXXX 東京都千代田区霞が関〇〇-〇〇			個人の場合、住民票の住所・氏名、法人の場合、登記した法人名および本店所在地です。申請書の申請者名と必ず一致します。	
7 設置の目的	製品の洗浄用			設置する設備の目的を記載してください。	
8 設置場所(住所)	郵便番号 234-XXXX 名古屋市東区白壁××-×× 株式会社総務東海支社内			申請担当者の方(当方から問い合わせの際にご説明いただける方)の氏名及び連絡先番号を記載してください。	
9 高周波電流を通ずる線路	(1) 種別	(2) 区間	10 許可の番号	11 許可の年月日	
12 電波法施行規則別表第6号第1の表2の項の(1)の適用の条件への適合			□ 適合している □ 適合していない		
※備考	備考欄余白は、25mm確保してください。				

電話番号 052-XXXX-XXXX
担当者 管理課 総務三郎